



MX5
MIDI REMOTE KEYBOARD

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

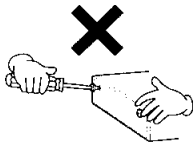
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、乾電池を本体から抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。



乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。

発熱、発火、液漏れの原因になります。



乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。

乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。



使い切りタイプの乾電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



乾電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ

ろ、またはほりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ずMIDIケーブルを外した上で行う。

コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

このたびはヤマハMIDIリモートキーボードKX5をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

KX5は、ヤマハ独自の最新デジタル技術を駆使してライブパフォーマンスにおけるプレイアビリティを徹底追求したものです。

キータッチの強弱によって音色・音量に微妙な変化をつけることができるイニシャル/アフタータッチコントロール機能。2オクターブのオクターブチェンジが可能なトランスポーズ。さらに、サウンドのクイックチェンジを可能にする64ボイス(音色)対応セレクターなど表現力を一段とひろげる豊富な機能。そして、ホイールタイプ採用のモジュレーションなどすぐれた操作性。

すぐれた表現力と操作性、そしてハイテック感覚のKX5は、新時代のライブ用キーボードです。

KX5の性能をフルに発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。

ご注意 パワーオンは受信側を先に、KX5を後に!

KX5はパワーオン直後にコントロールパネルの設定状態をMIDIのイニシャルデータとして出力し、受信側のキーボードはこのデータを元にリモートコントロールされます。パワーオンの順序をKX5を先にして受信側を後にしますと、KX5のコントロールパネルの設定通りに受信側のキーボードが動作しないことがあります。例えば、KX5のポルタメントがオンになっていても受信側のキーボードではポルタメント効果がかからないといったことがあります。この場合KX5のポルタメントスイッチを一度押し直しますと正しく動作するようになりますが、このようなことを最初から避けるために、受信側のキーボードをパワーオンにしMIDIケーブルを接続した後でKX5をパワーオンにしてください。

仕 様

鍵盤.....37鍵、C2~C5 イニシャル/
アフタータッチ付
音色スイッチ.....BANK(1~4)、VOICE(1~8)
コントロール用スイッチ...SUSTAIN(ON/OFF) PORTAMENTO
(ON/OFF)、MODE(MONO/POLY)、
TRANSPOSE(OCT DOWN/N/OCT
UP)、MIDI(CH1/CH2)
リボンコントローラー.....PITCH BEND
ボリューム.....PORTAMENTO TIME
ホイール.....MODULATION、VOLUME
入出力端子.....BREATH CONTROL、MIDI OUT
電源スイッチ.....MIDIケーブルの接続時に有効
電源.....単3乾電池6本
外装.....シルバーメタリック塗装、
黒色レザーサテン塗装

寸法(W×H×D).....914×80×191mm

重量.....約3.7kg

付属品.....MIDIケーブル、単3乾電池6本
別売品.....プレスコントローラーBC1、
ストラップ

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。



保証書の手続きを

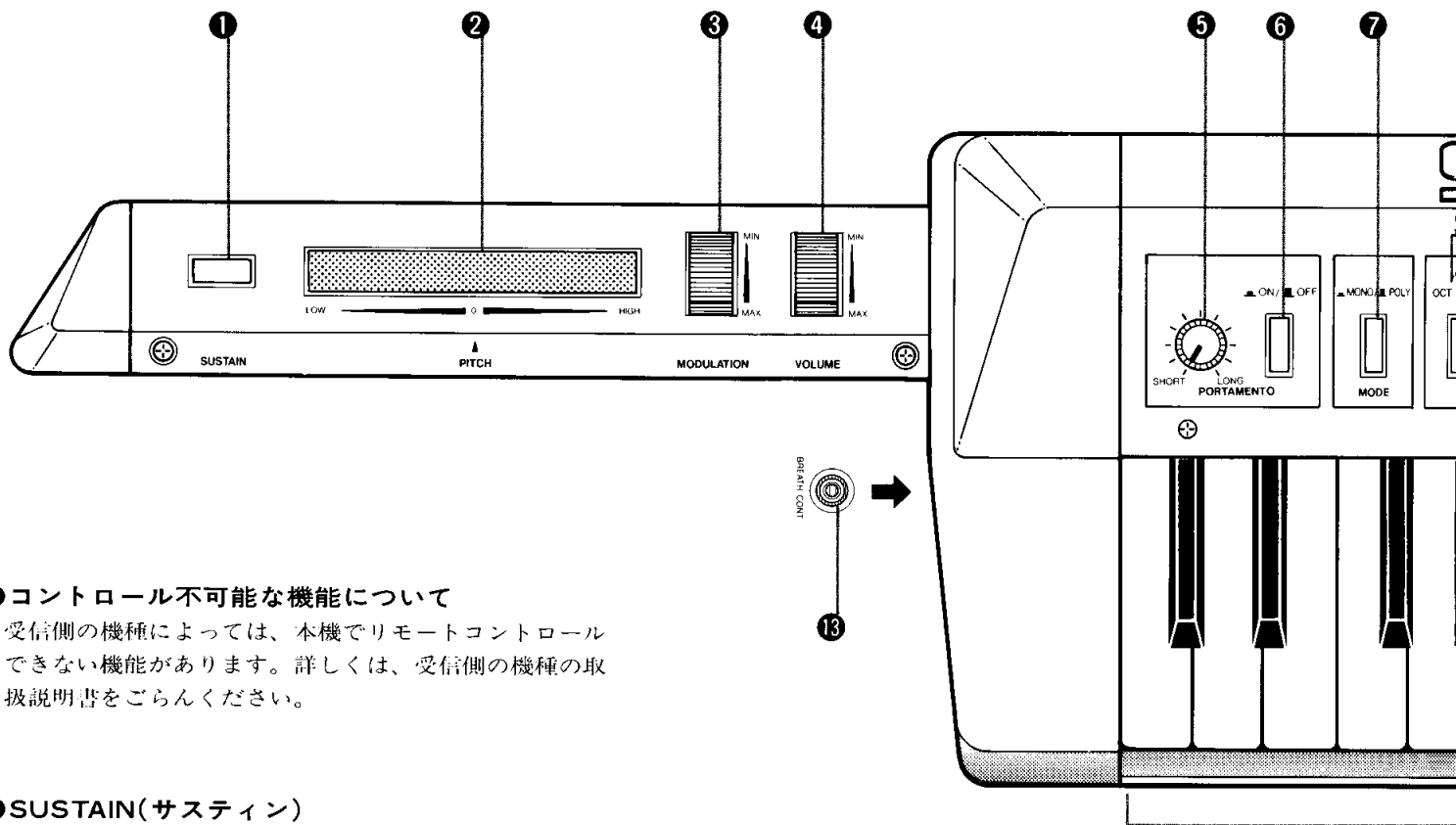
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意くださいませうようお願いいたします。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

各部の名称と機能



●コントロール不可能な機能について

受信側の機種によっては、本機でリモートコントロールできない機能があります。詳しくは、受信側の機種の取扱説明書をごらんください。

① SUSTAIN(サスティン)

スイッチを押している間、サスティン効果が得られます。

② PITCH(ピッチベンド)

ピッチベンド用のリボンコントローラーです。リボンの押さえ位置により、あらかじめ受信側の機器で設定したレンジに従い、ピッチが移動します。リボンから指をはなすと、ピッチはもとにもどります。

③ MODULATION(モジュレーションホイール)

受信側の機器であらかじめ設定した変調効果の深さをコントロールするホイールです。

④ VOLUME(ボリューム)

音量をコントロールするホイールです。

⑤ PORTAMENTO(ポルタメントタイム)

このつまみを回すと、ポルタメント効果の変化時間をコントロールすることができます。つまみを“LONG”側に回すほどゆるやかなポルタメント効果が得られます。

⑥ PORTAMENTO(ポルタメントスイッチ)

ポルタメント効果をON/OFFするスイッチです。

⑦ MONO/POLY(モードスイッチ)

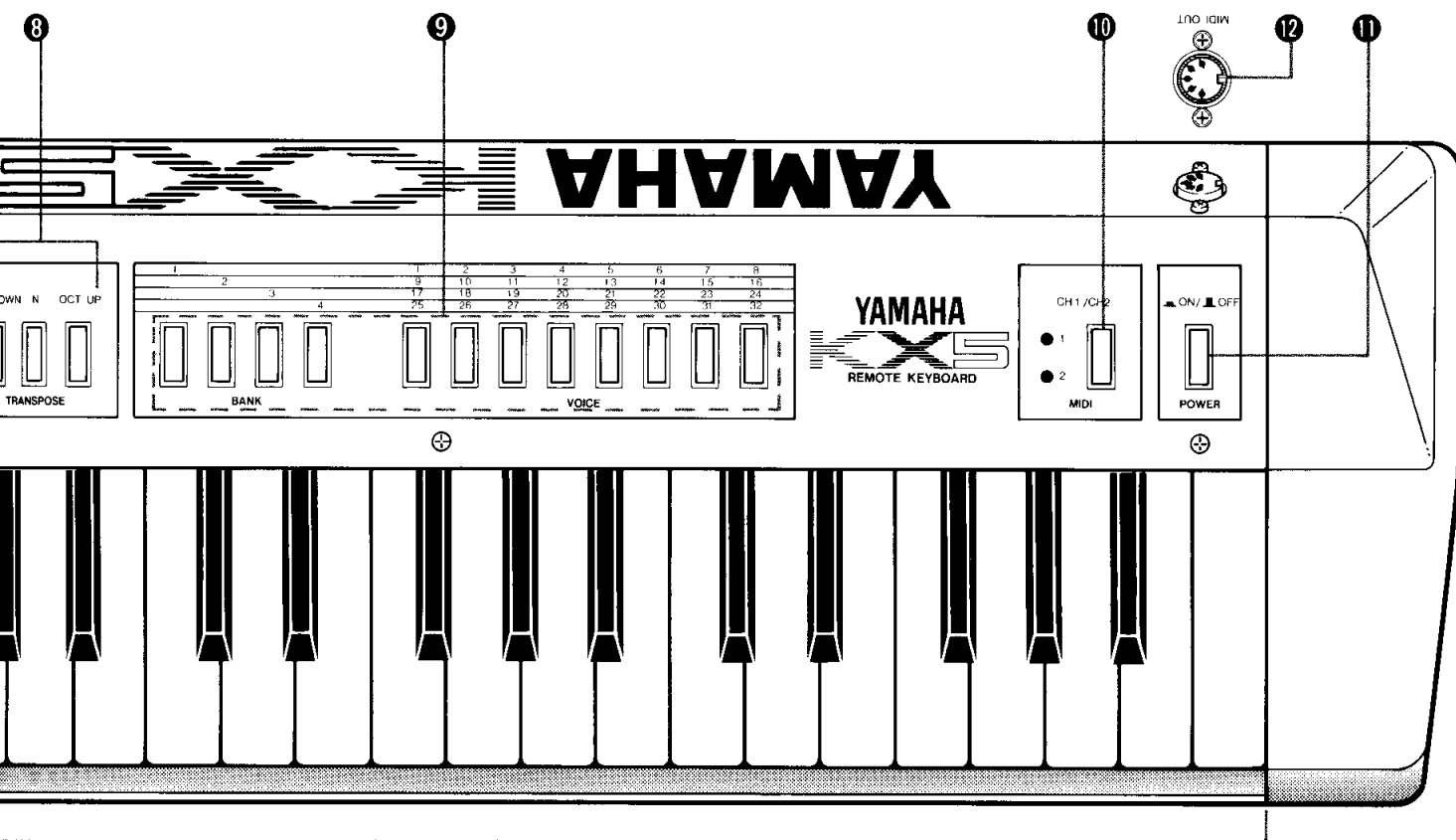
スイッチを“■”MONOにすると発音モードがモノフォニックになります。また“■”POLYにするとポリフォニックになります。

⑧ TRANSPOSE(トランスポーズ)

NORMALを基準として、音程をオクターブ上げ下げすることができます。

⑨ BANK・VOICE(音色セレクター)

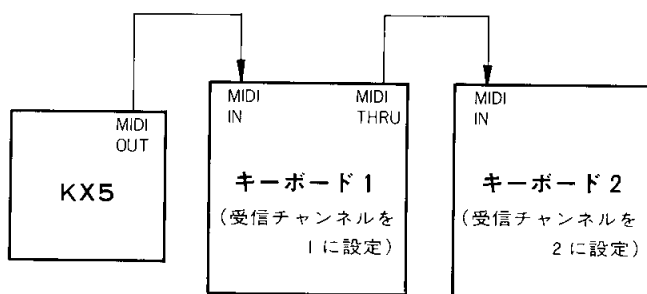
ボイス(音色)を選択するスイッチです。BANKおよびVOICEのボタンをそれぞれ1つずつ押して、ボイスナンバーを指示します。また、SUSTAINスイッチを押しながら、BANKおよびVOICEボタンを押すことにより、本機のパネル表示にない33~64のプリセットボイスを指示することができます。



⑩ MIDI (MIDIチャンネルスイッチ)

出力チャンネルを設定するスイッチで、選択しているチャンネルのインジケータが点灯します。受信側の機器のチャンネルナンバーと合わせてください。

なお、鍵盤やスイッチ類を押した状態では切り替わりません。下の図のように2台のキーボードを接続しますと、KX5のMIDIチャンネルスイッチの操作で、発音するキーボードの選択ができます。



⑫ MIDI OUT

MIDIデータの送信用端子です。
付属のMIDIケーブルを接続してください。

⑬ BREATH CONT (ブレスコントロール)

別売のブレスコントローラー(BC1)を接続する端子です。ブレスコントローラーを接続することにより、息の強弱で効果のかかり具合を調節することができます。

⑭ KEYBOARD (鍵盤)

37鍵(C2~C5)、イニシャル/アフタータッチ付のキーボードです。キータッチの強弱により、音色・音量に微妙な変化をつけることができます。

注) 受信側にMIDI音源を接続して演奏をした場合、アフタータッチ対応の音源であっても、KX5では働かないことがあります。

このような場合には、KX5のSUSTAINスイッチを押しながら、KX5のPOWERスイッチをONにしてください。

⑪ POWER (電源スイッチ)

付属のMIDIケーブルを接続し、このスイッチを「ON」にするとインジケータが点灯し、電源が入ります。

電池の交換・ストラップの取付け

■電池の交換

KX5には減電圧表示回路が内蔵されており、電池が消耗するとコントロールパネルのMIDIチャンネルインジケータが点滅します。

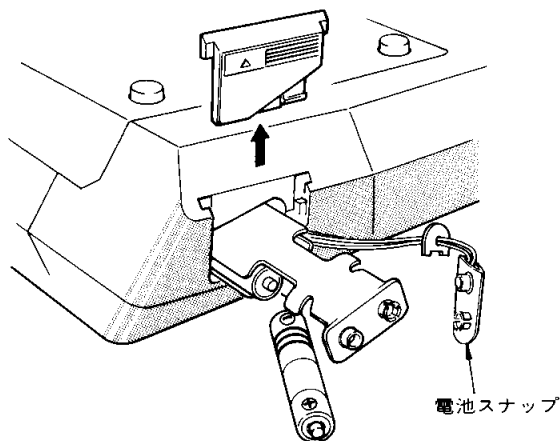
インジケータが点滅したときは、**すべて新しい電池と**取り換えてください。

- ①電池蓋を矢印方向にスライドさせてははずします。
- ②電池スナップをはずした後、電池ケースを取り出し、単3乾電池6本を⊕⊖を間違えないように入れ換えます。

〔注意〕

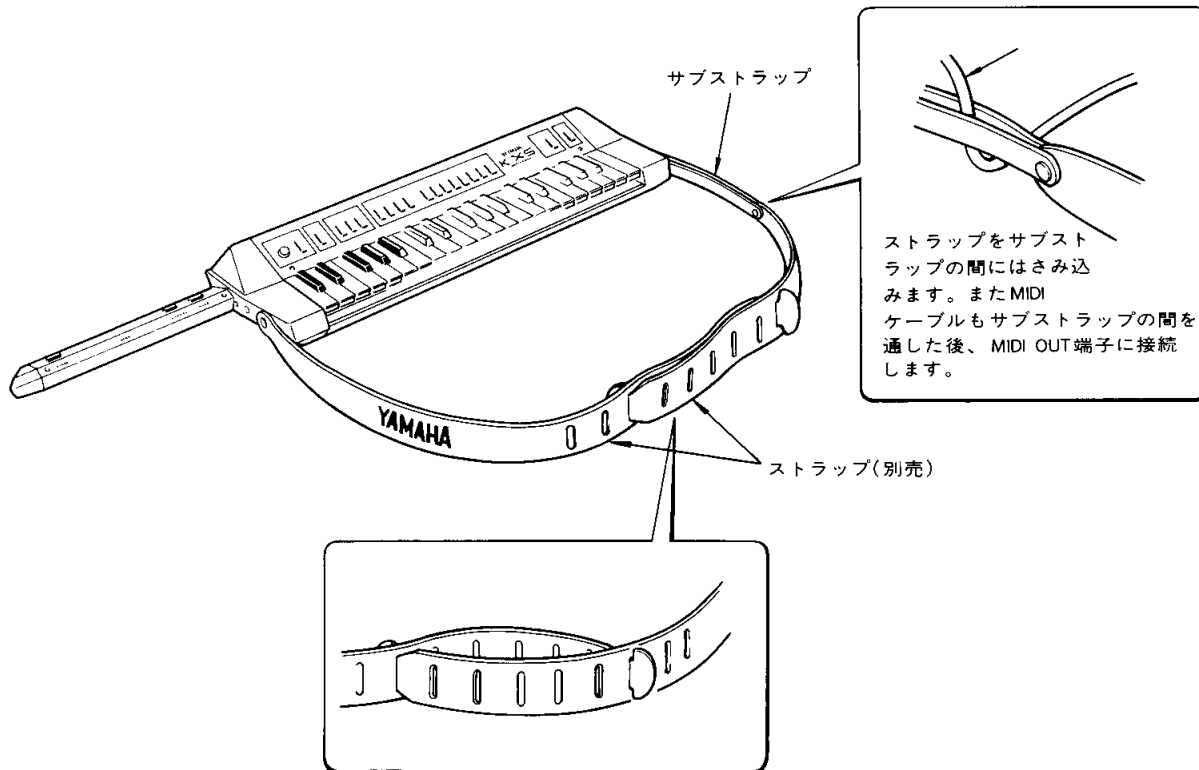
乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- ❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど）を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。



- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

■ストラップ(別売)の取付け



- 演奏の前に、ストラップが完全に取付けられていることを確認してください。

MIDI送信データフォーマット

Key on

1001000n Status (注1)
 0kkkkkkk Key number (注2)
 0vvvvvvv Key velocity (注3)

注1

n	0	1
Channel	1	2

Key off

1000000n Status (注1)
 0kkkkkkk Key number (注2)
 01000000 Key velocity

注2 kkk kkkk = \$24 ~ \$60

Transpose	Keyboard	C ₂ ~ C ₃ ~ C ₅
	OCT UP	\$3C ~ \$48 ~ \$60
	N	\$30 ~ \$3C ~ \$54
	OCT DOWN	\$24 ~ \$30 ~ \$48

Control change

1011000n Status (注1)
 0ccccccc Control number (注4)
 0vvvvvvv Control value (注4)

注3 vvv vvvv = \$01 ~ \$7F

注4

ccc cccc	Parameter	vvv vvvv
\$01	Modulation	\$00 ~ \$7F
\$02	Breath controller	\$00 ~ \$7F
\$03	After touch (注8)	\$00 ~ \$7F
\$05	Portamento time	\$00 ~ \$7F
\$07	Volume	\$00 ~ \$7F
\$40	Sustain switch	\$00; off \$7F; on
\$41	Portamento switch	\$00; off \$7F; on
\$7E	Mono mode all note off	\$01
\$7F	Poly mode all note off	\$00

Program change

1100000n Status (注1)
 0ppppppp Program number (注5)



After touch (注8)

1101000n Status (注1)
 0vvvvvvv Touch value (注6)

Pitch bend

1110000n Status (注1)
 0uuuuuuu Bend value LS byte (注7)
 0vvvvvvv Bend value MS byte (注7)

注5 ppp pppp = \$00 ~ \$3F

VOICE	1 ~ 32
SUSTAIN	
	\$00 ~ \$1F
	\$20 ~ \$3F

MIDI clock

11111110 約50msごとに送出されます。

注6 vvv vvvv = \$00 ~ \$7F

電源ON直後に次のイニシャライズ・データを送出します。

1011000n Control change status (注1)
 01111111 } Poly mode all note off
 00000000 }
 1011000n Control change status (注1)
 01000000 } Sustain off
 00000000 }
 01000001 } Portamento off
 00000000 }
 00000001 } Modulation min
 00000000 }
 00000111 } Volume min
 00000000 }
 00000101 } Portamento short
 00000000 }

注7

vvvv vvv	uuu uuuu
\$00 ~ \$3F	\$00
\$40 ~ \$7F	2 x (vvvv vvv-\$40)

注8 電源の入れ方でアフター・タッチの送出データが異なります。

POWERのみをON	SUSTAINを押しながらPOWERをON
1101000n 0vvvvvvvv	1011000n 00000011 0vvvvvvvv

ユーザーサポートサービスのご案内

ヤマハデジタル商品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。

お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

ヤマハデジタルインフォメーションセンター
TEL 053-460-1666
受付日月曜日～金曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

保証書とアフタサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025 川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
東京サービスステーション*	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-6625
(*お持込み修理のみお取扱い)		
浜松サービスセンター	〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029 高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134

[本社]

カスタマーサービス部 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-1158

■デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM東京事業所	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
EM関東営業所	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM大阪事業所	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL (082) 244-3749
EM九州営業所	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130
電子楽器事業部 営業部	〒430-8650 浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-2432

ホームページ
ニフティサーブ

<http://www.yamaha.co.jp/>
「GO FMIDIVA」コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがございます。

電子会議

#16 ヤマハ Synth & CBX 情報ボード
#17 ヤマハ Synth & CBX ユーザーズカフェ
#18 ヤマハ Synth & CBX 相談室
#8 ヤマハ/デジタル CBX

データライブラリー

●所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division ©1998 Yamaha Corporation

[LKX001] 901EEEE1.3-18C0 Printed in Japan

